

芝生の上を元氣いっぱい

豊橋の前芝保育園と小中学校
連携教育の一環「合同運動会」

豊橋市の前芝保育園と前芝中学は31日、合同運動会を同小のグラウンドで開いた。園児や児童、生徒ら約500人が緑の芝生の上を元氣いっぱい駆け回った。

例年中学の運動場で行っていたが、体育館が工事中ということもあり、今年は今内でも珍しい芝生の運動場を持つ同小学校での開催となった。

小学校の運動場は手狭でトラック競技ができないため、牧野光希委員長ら実行委員たちは「トラック競技にかわる目玉競技を」と、実施する競技に知恵を絞った。

この日は中学生が園児と中学生が協力し競技に臨んだ障害物競争―前芝小学校

置いた段ボールの上を園児がびよんと乗って進む障害物競争や交差させたロープを十字方向に引っ張り合う綱引きなどが行われた。

前芝小と中学は、児童たちの中学進学時に環境変化に対応できるように「小中連携教育」に取り組んでいる。教師が授業で行き来するなど交流を活発に行い、職員全体で児童と生徒を見守る体制を取っている。合同運動会はこうした試みの「伝統行事」で、今年で59回目だった。

(飯塚雪)

